

## 課題研究中間発表会

令和3年11月4日

11月4日（木）、14時から約2時間、講堂において、総合理学科2年生の課題研究中間発表会を開催しました。発表の生徒は、サイエンス・アドバイザー、他校教職員、本校保護者、総合理学科3年生、本校教職員等の多くの参加者を前にして、一生懸命ポスターを用いて発表をしました。また、参加者からも、適切かつ鋭い質問をいただきました。

その後、場所を視聴覚教室に移して、ひと班ごとに発表内容に対する研究協議を行いました。ここでは、サイエンス・アドバイザーの方々から、いろんな角度で質問をしていただき、発表者の応答に対して適切な助言をいただきました。発表者にとっては、最終の発表に向けた今後の研究の進め方について、とても多くのヒントをいただけたのではないかと思います。予定を大幅に超えて18時過ぎまで長時間にわたりご参加くださった皆様、本当にありがとうございました。

今回発表の、各班の内容を紹介します。

1. 蚕を用いた自然-細胞性免疫力の向上の研究
2. ボウリングのストライクになる条件
3. 新しいDES（深共晶溶媒）と既存のDESの評価
4. 物体検出による学校教室内の密判別装置作成と実践
5. バナナの皮から作る液体肥料
6. 光がプラナリアの再生速度に与える影響
7. ヤマトヒメミミズの有性化誘導と餌の関係
8. ツネノチャダイゴケの培養方法の確立
9. 富栄養状態と貧栄養状態でのポリ乳酸（PLA）の分解について

